うれないし列伝

第二話　ひき肉事件

山田海月(やまだみつき)

私は売れない占い師。
へへ、私の事をみんなこう呼んで励ましてくれるんだ。
きっとそのうち小さなつぼみが咲く時がくるって、さ。

今日もまた、いつものように占いのお仕事です。
前回と同じ怖そうだけど☆☆☆占い師さんと一緒です。
「おはようございます」の挨拶に続いてこの☆☆☆占い師さんとの雑談が始まります。

そうそう、☆☆☆占い師さん（面倒なので以後は星三つ＝ホシミさんと書きます）、ホシミさんはハンバーグが大好きです。レストランに食べにも行きますが手作りもお手のもの。あらあら、さてさて、ひき肉事件です。ラジオから流れるニュースです。ホシミさんが買ったひき肉に、なんとお肉以外な物が入っていたという事件です。

ホシミさんもおおあわてです。パニックってます。
ちなみに私はと云いますと、貧乏占い師の為、ひき肉を買いません。買うのはかたまりの豚肉か鶏肉。それを、薄切りにしたり、ミンチにしたりするので、異物とは無縁です。
ホシミさんは二度と買うもんかといって、お客さん対応にもテンション高めです。まるで誰かに八つ当たりしている様子。当然ですが、私にもとばっちりがきそうな気配。やばいなぁと思っているとお客さんです。

今日はそんな調子でいつもより少しですが忙しくて、内心ほっとしています。なぜならひき肉事件のとばっちりでの「テンション低低」は嫌だからです。
人間というのはなぜだか楽しい話が好きだからです。
こうやって、売れない占い師でも真面目にコツコツやってるとお客さんが少しずつでも増えてくるものだ。
こんな日は特にお客さまさまです。

今日は怖そうな占い師さんはさらに怖そうに見えた日でもありました。
そして、今日の教訓です。
ひき肉は信用出来るお店で買いましょう～というお話しです。